

株式会社AVANTIA

2026年2月11日（水）

平屋専門ブランド「RAN」から新たな「暮らし」の提案 安心を積み重ねる未来の平屋「RAN with」発表

産学官連携による共同研究を通じ、福祉・心理的知見とロボティクスの融合により、
超高齢社会における住まいの在り方を検証



画像：「RAN with」イメージパース

サイトURL：<https://hiraya.avantia-g.co.jp/ranwith/>

株式会社AVANTIA（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 沢田康成、以下「当社」）は、2025年11月19日（水）に締結した、学校法人日本福祉大学および国立研究開発法人国立長寿医療研究センターとの産学官連携による共同研究契約に基づく実証研究プロジェクト（以下「本プロジェクト」）と、平屋専門ブランド「RAN」から派生した新たな住宅ブランドとして「RAN with（ラン ウィズ）」を発表いたします。

本プロジェクトは、急速に進む超高齢社会を背景に、「たとえ介護が必要になったとしても、住み慣れた家で、自分らしく暮らし続けることはできるのか」という社会的課題に対し、介護・福祉・建築の観点から実証的に検証する取り組みです。

RANwith

今このときを、未来まで

■ネーミングの由来

平屋専門ブランド「RAN」の思想を継承する「RAN with」という名称には、人・家族・技術と“共に”暮らし続ける住まいを目指すという考え方が込められています。

■「RAN with」の主な特徴・設計コンセプト

人生の変化を前提に、その先の人生までを切り離して考えるのではなく、今の暮らしの延長線上で、変化を受け入れながら住み続けられること。その考え方こそが「RAN with」プロジェクトの根底にある思想です。

2026年春に完成し、実証研究が行われる「RAN with」モデルハウス（以下、「本モデルハウス」）は、単なる研究施設やコンセプトモデルではなく、実際に人が暮らすことを前提に設計された実証研究モデルハウスです。研究テーマを住まいの空間として具現化し、日常生活における動作や心理的变化を継続的に検証することで、超高齢社会における住まいの在り方を、より現実的かつ実践的な形で明らかにすることを目指しています。

【将来を見据えた可変性】

- 将来的な介護ベッドの設置や見守りが必要になった場合にも柔軟に対応できる間取り設計
- 介護を担う家族が心身の健康を保ち、日常生活を楽しめるよう、ライフステージや趣味嗜好の変化に応じて、使い方を柔軟に変えられる趣味スペースの設置
- 車椅子や介護ロボットの利用を想定した、ゆとりある廊下幅と引き戸の採用

【健康寿命の延伸を意識した工夫】

- 寝室からトイレまでを一直線で結ぶ動線により、日常動作の負担を軽減
- 身体変化を見据えた動線計画と建具仕様により、将来にわたる使いやすさを確保
- 家事・見守り・移動が自然に整うキッチンの回遊動線により、暮らしの快適性を向上



画像：「RAN with」イメージパース

■「RAN with」モデルハウス概要

| | |
|--------|-----------------------------|
| 建物面積 | ： 延床面積 108.49㎡、建築面積118.42㎡ |
| 所在地 | ： 〒500-8368岐阜県岐阜市宇佐3丁目17-16 |
| オープン時期 | ： 2026年春完成予定 |

■産学官連携による「RAN with」実証研究の目的

急速に進む超高齢社会において、「たとえ介護が必要になったとしても、住み慣れた家で、自分らしく暮らし続けたい」というニーズは年々高まっています。一方で、段差や動線、設備の使いにくさなど、住まいに起因する不安や不便を抱える高齢者も少なくありません。

こうした社会課題に対し、産学官連携による実証研究を2026年春に岐阜市で完成予定の本モデルハウスを舞台に、2029年3月31日までの約3年間に渡り、実際の生活動作を通じた検証を行いながら、“これからの住まいの在り方”を再定義していきます。

【AVANTIA】

住まいを「人生を支えるインフラ」へと進化させることを目指し、加齢に伴う心身の変化を受け止める住空間設計を検証します。動線計画やバリアフリー性、介護設備との共生に加え、間取りが介護者並びに被介護者の心理的負担や安心感にどのように寄与するかについても検証し、得られた知見を今後の設計提案や商品開発へ反映していきます。

【学校法人日本福祉大学】

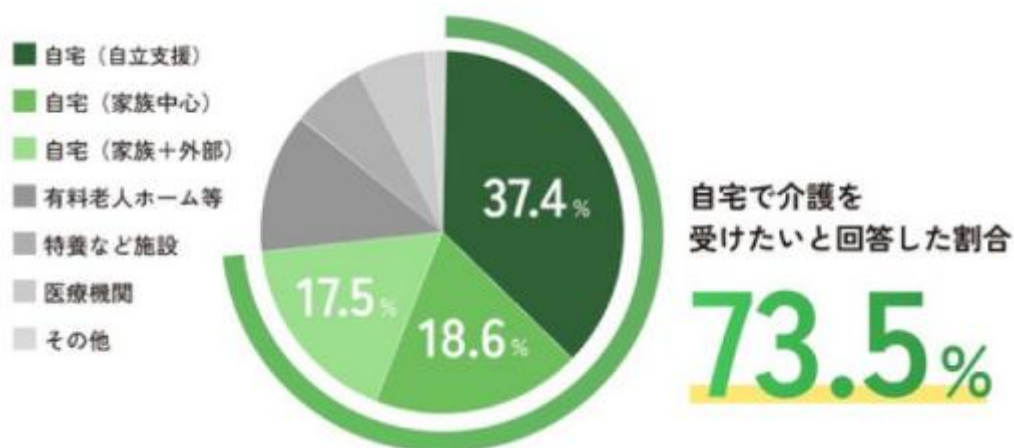
本研究では「覚えやすい設備・間取り」をテーマに、ワンフロアで生活が完結し空間構造がシンプルな平屋を用いて、台所や玄関、動線、明るさなどが生活動作に与える影響を検証します。住まいの変更が認知症や物忘れのある方に大きな負担となることを踏まえ、モデルハウスの訪問頻度の違いによる動作の習熟度や落ち着きの差を分析し、歳を重ねても使いやすい住まいの設計指針の確立を目指します。

【国立研究開発法人国立長寿医療研究センター】

超高齢社会における在宅生活の支援は喫緊の課題であり、介護人材不足が進む中で介護ロボットやIoTの活用が期待されていますが、在宅環境における有効性や生活者の受容性に関する科学的知見は十分ではありません。本研究では、平屋モデルハウスにセンター監修のもと先進技術を活用する意匠を加え「リビングラボ」(※)の発展形として、在宅環境の課題を検証し、高齢者仕様住宅の方向性や需要を実証する場として機能させます。

※国立長寿医療研究センターが推進するロボティクス実証拠点

■参考資料：アンケート調査「どこでどのような介護を受けたいか」



参照：内閣府 平成30年版高齢者社会白書「どこでどのような介護を受けたいか（図1-2-2-11）」

■今後に向けて

当社は、超高齢社会という社会課題に対し、「住み慣れた家で、できる限り自立して暮らし続けたい」という多くの皆様の想いを、住まいの力で支えていきたいと考えています。本取り組みを通じて得られる知見を社会へ還元し、持続的な価値提供につながる住まいづくりを推進していきます。

■今後のスケジュール（予定）

- ・ **2026年4月** モデルハウスプレオープン
産学官ワークショップ
メディア向け先行公開
- ・ **2026年5月** モデルハウスグランドオープン
一般公開開始
学校法人日本福祉大学研究始動
国立長寿医療研究センター研究始動

【株式会社AVANTIAについて】

1989年に株式会社サンヨーハウジング名古屋（2020年1月に現在の株式会社AVANTIAへ商号変更）として設立。戸建住宅の設計・施工・販売を中心に総合不動産グループとしてリフォーム工事や不動産仲介、中古リノベーション住宅、収益不動産などの多様な商品・サービスを提供。

社名 : 株式会社AVANTIA（コード番号：8904東証スタンダード、名証プレミア）

代表者 : 代表取締役社長 沢田 康成

所在地 : 愛知県名古屋市中区錦二丁目20-15 広小路クロスタワー12階

設立日 : 1989年11月16日

従業員数 : 575名（連結）249名（単体）※2025年8月31日現在

ホームページ : <https://avantia-g.co.jp/>

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社AVANTIA 広報担当

TEL : 052-307-5094（経営企画部／名古屋）03-6629-0507（クリエイション部／東京）

e-mail : pr-info@avantia-g.co.jp